政府統計

統計法に基づく統計調査で報告いただく情報は国の統計調査票情報保護に関する秘密の保護を期します。万全を期します。

秘
農林水産省

令和7年度

令和6年産花木等生産状況調査票
（全国調査年用）

この調査は、花木類、芝、地被植物類の作付面積、出荷量及び出荷額等の実態を把握し、花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針に基づく、各種施策の推進のための資料として活用することを目的に実施するものです。

この調査は、農林水産省が統計法（平成19年法律第53号）に基づく一般統計調査として実施するものです。

なお、本調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんのでご協力をお願いします。

SAMPLE

都道府県名	

担当
農林水産省大臣官房統計部
生産流通消費統計課
TEL：03-6744-2044、FAX：03-5511-8771

（業務請負者）

TEL：　　、FAX：
E-mail：
担当：

秘
農林水産省

令和6年産　花木等生産状況調査

1. 花木類の作付面積、出荷量、出荷額

種類名		作付面積	出荷量	出荷額
ツツジ	前回産	a	千本	千円
	本年産	a	千本	千円
サツキ	前回産	a	千本	千円
	本年産	a	千本	千円
カイヅカイブキ	前回産	a	千本	千円
	本年産	a	千本	千円
タマイブキ	前回産	a	千本	千円
	本年産	a	千本	千円
ツバキ	前回産	a	千本	千円
	本年産	a	千本	千円
モミジ	前回産	a	千本	千円
	本年産	a	千本	千円
ヒバ類	前回産	a	千本	千円
	本年産	a	千本	千円
ツゲ類	前回産	a	千本	千円
	本年産	a	千本	千円
その他花木	前回産	a	千本	千円
	本年産	a	千本	千円
花木類計	前回産	a	千本	千円
	本年産	a	千本	千円

SAMPLE

注1　各項目において、「苗木」と「成木」の合計値を記入してください。
「苗木」とは、挿木、取木、実生等による繁殖時点より、おおむね2年未満のもので、一般的に苗木として流通されている状態まで成長しているもの（作付面積については養成中のものを含む。）。
「成木」とは、おおむね2年以上のもの（切り枝用の成木を除く。）。

注2　数値については、**整数（小数点第1位を四捨五入）を記入**してください。ただし、単位未満や該当がない等の場合は、次のいずれかの記号を記入していただき、空欄としないでください（以下各表とも同じ。）。

- **「０」（ゼロ）　：単位に満たないもの（例：0.4ａ→0ａ）**
- **「－」（バー）　：事実のないもの**
- **「…」（３点リーダー）：事実不詳又は調査を欠くもの（数値が分からない）**

注3　計については、記入しないでください（以下各表とも同じ。）。

注4　「作付面積」は、「栽培農家」（該当する種類を販売することを目的として生産している販売農家（経営耕地面積が30a以上又は農産物販売価格金額が年間50万円以上の農家）及び組織経営体（協業経営体、株式会社、有限会社、その他の会社、農協、その他農業団体で法人格を有するもの等、世帯以外の農業事業体））において、ほ場等に植栽・栽培されている面積をいいます（以下各表とも同じ。）。

注5　この調査で「花木類」とは、観賞用樹木（タケを含む。）をいいます（鉢ものとして生産されているものは除く。）。

注6　調査対象とする花木類は、販売用にほ場で栽培されているものとし、宅地内等に植栽されたもの及び流通業者の在庫は含めないこととします。

注7　「作付面積」は、調査該当年次の12月末日に苗木ほ場又は成木ほ場に植栽されている面積を、「出荷量」は、当該年次の1～12月に出荷された数量を、「出荷額」は、同期間中に出荷された金額を、それぞれ記入してください。

注8　「前回産」の欄には、主産県調査として前年ご回答いただいた品目は前年値、前年ご回答いただいていない品目は前回の全国調査年の値を表示しています。（以下各表とも同じ。）

2. 芝の作付面積、出荷量、出荷額等

種類名		作付面積	出荷量	出荷額
日本芝	前回産	a	a	千円
	本年産	a	a	千円
西洋芝	前回産	a	a	千円
	本年産	a	a	千円
芝計	前回産	a	a	千円
	本年産	a	a	千円

用途別出荷量割合	造園用	土木用	ゴルフ場用	その他（　　）
	%	%	%	%

注1　調査の対象とする芝は、造園用、土木用又はゴルフ場（運動場を含む。）用に販売するため、ほ場において養成している芝とし、最終需要地（ゴルフ場等）に植栽されている芝は調査対象としません。

注2　「日本芝」とはノシバ、コウライシバ等の日本芝とし、「西洋芝」とはベントグラス類、ブルーグラス類及びこれらの類似の芝とします。

注3　「作付面積」は、調査該当年次の1～12月の間にほ場で栽培された延べ面積を、「出荷量」は、当該年次の1～12月に出荷した数量を、「出荷額」は、当該年次の1～12月に出荷された金額を、それぞれ記入してください。

注4　「用途別出荷量割合」欄には、当該年次の実績について造園用、土木用、ゴルフ場（運動場を含む。）用等の「出荷量」割合を整数で記入 してください。なお、合計で100%となるようにしてください。

SAMPLE

3. 芝以外の地被植物類（カバープランツ）の作付面積、出荷量、出荷額等

種類名		作付面積	出荷量	出荷額
つるもの類	前回産	a	a	千円
	本年産	a	a	千円
タケ・ササ類	前回産	a	a	千円
	本年産	a	a	千円
ジャノヒゲ類	前回産	a	a	千円
	本年産	a	a	千円
草本類	前回産	a	a	千円
	本年産	a	a	千円
木本類	前回産	a	a	千円
	本年産	a	a	千円
地被植物類計	前回産	a	a	千円
	本年産	a	a	千円

用途別出荷量割合	造園用	土木用	その他（　　）
	%	%	%

注1　この調査において「地被植物類」とは、成長とともに平面的な広がりをもって地面や壁面をカバーしていく植物（花壇苗及び鉢ものとして生産されるものを除く。）をいいます。

注2　調査の対象とする「地被植物類」は、造園用、土木用等に販売するため、ほ場において養成されているものとし、最終需要地（公園等）に植栽されているものは調査対象としません。

注3　「つるもの類」とは、ヘデラ類、ナツヅタ、イタビカズラ及びビナンカズラ等の蔓性植物を、「タケ・ササ類」とは、オカメザサ、クマザサ、チゴザサ及びオロシマチク等を、「草本類」とは、フッキソウ、ビンカ（ニチニチソウ）、シャガ等の草本性植物（「つるもの類」、「タケ・ササ類」及び「ジャノヒゲ類」を除く）を、「木本類」とは、強靭性、低樹高の観賞用針葉樹（スギ属、ヒノキ属、ビャクシン属）等をいいます。

注4　「作付面積」は、調査該当年次の12月末日に栽培されている面積を、「出荷量」は、当該年次の1～12月に出荷した数量を、「出荷額」は、出荷された金額を、それぞれ記入してください。

注5　「用途別出荷量割合」欄には、当該年次の実績について造園用・土木用等の「出荷量」割合を整数で記入してください。なお、合計で100%となるようにしてください。

4. 花木類、芝及び地被植物類の実栽培農家数

種類名		実栽培農家数
花木類	前回産	戸
	本年産	戸
芝	前回産	戸
	本年産	戸
地被植物類	前回産	戸
	本年産	戸

注1　栽培農家数が1又は2の場合は、当該調査結果が秘匿されます。

注2　実栽培農家数は、それぞれの類ごとの栽培農家数であり、品目別の栽培農家数の積上げではありません。例えば、ツツジとサツキを栽培している農家は1戸として集計してください。

SAMPLE